

提出日 2024 年 8 月 31 日

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光学科	学科	3	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/韓国語研修)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 5 日 ~ 2024 年 8 月 22 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	韓国	留学先大学名	檀国大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私が留学に行こうと決めた理由は、韓国語の力を伸ばしたいのと将来のことを考えるきっかけになればいいなと思ったからです。高校生の頃から韓国語の勉強はしていたのですがコロナをきっかけにモチベーションが無くなってしまい、韓国語の勉強から少し離れていたのですが大学1年生で韓国語の授業を受けてからやっぱり韓国語の力をもっと伸ばしたいと思いました。それから海外研修に韓国が追加されると聞き参加しようと決めました。それから、今大学3年生のため将来のことを具体的に決めていかないといけない時期で特にこれと決めたものがなかったのでこの留学をきっかけにできれば良いなと思いました。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>現地での授業は、先生の話聞いて問題を解くというよりは会話がメインの授業が多かったです。会話の授業が多かったので聞く力と話す力がとても伸びたと感じました。分からないことなどは先生やクラスメイトに質問するなど積極的に取り組むことができました。他にも、クラスには様々な国籍のクラスメイトがいたので韓国語以外にも英語だったり違う言語を使ってコミュニケーションを取ったりしたのも留学ならではの経験となり、とても新鮮に感じました。授業以外にもたくさんのアクティビティに参加することができ韓国の文化を身近に感じ、初めて行く場所が多様な経験ができたことがとても思い出に残っています。</p>
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	<p>約3週間の短い留学ではありましたがたくさんの新しいことを経験でき、たくさん吸収するものがあったなと思いました。勉強面では、個人的に話す力・聞く力が圧倒的に伸びたと感じました。オール韓国語での授業だったり現地のタクシー運転手の方などたくさんの人と会話することで、授業で学んだことを発揮できたような気がしています。積極的に多くの人と会話できたのがとても楽しく、語学力の成長を感じられたと思いました。留学中、語学だけでなく人としても成長できたなと感じました。この留学中楽しいことも多かったです、大変なこともたくさんありました。その中でも助け合いの大切さをとても感じました。日本にいるとなかなか自分から声をかけるというのが難しいと感じることが私自身あったのですが、留学中自分が困っていたりしたら学校にいるときはクラスメイトやインターンの方が優しく声をかけてくれたり、駅などでは現地の人も助けてくれたり人の暖かさを感じれてとてもよかったです。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>短期間ではありましたが、この留学を将来自分がしたいこと・仕事に活かしたいなと思いました。留学に行く前までは自分のしたいことや将来についてそこまで深く考えてはいなかったのですが、自分が初めて知ることだったり韓国の文化を身近に感じるが多かったり様々な経験をして留学から帰ってきて一番に思ったことは韓国にかかわりが持てるような仕事や活動をしたいという思いが生まれました。また、今まではしたことがなかったですが大学での国際交流などにも参加してみたいなと感じました。</p>
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/韓国語研修)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 5 日 ~ 2024 年 8 月 22 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	韓国	留学先大学名	檀国大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私は中学生の頃から見ていた韓国ドラマがきっかけで韓国語が好きになりました。ドラマを見ていく中で簡単な韓国語の聞き取りはできるものの、普段の日常生活を過ごす中で韓国語を使って話すという機会がなく、なかなかスピーキング力が思うように伸びず悩んでいたことがありました。上手く韓国語で表現することができなかったのもっと流暢な韓国語で話せるようになればな…と思ったのがきっかけで留学を決意しました。私の留学での目標は今よりもっと「流暢に韓国語で会話をすることができ韓国語での表現力を高める」を一番の目標としておりました。留学先では、もちろん日本ではない韓国なので、目から入る全ての文字がイングル文字であり耳から聞き会話する言語が韓国語、実際に現地では現地の人の発音や話し方、話す言葉に着目しわからない単語はその場で調べ「アウトプット」を心掛けるよう目標を掲げておりました。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>大学に到着後次の日にレベル分けテストが行われました。「初級 中級 上級」と分かれ1クラス17人程度 1日4時間の授業でプログラムの後半は檀国大学の学生さんと1時間会話の練習をするといった授業もありました。私は上級クラスでしたが韓国語が既にある程度分かる学生さんが多く授業内では一切日本語の使用はせず「休み時間は友達同士でも韓国語で会話をしたり」説明からわからない単語は先生が簡単な韓国語に変えて説明してくださるなどして授業が行われました。授業内で学んだ文法を使用し自分の考えに変えて発表したり2人組になって文の構成を考え前で作成するなどの会話の練習もありました。「携帯を見て話すのではなく何も見ずに自分の言葉で話す」が私たちクラスの目標で、リスニングでは聞いて問題を解くだけでなく先生が話す少し長い文章を書くといった筆記の時間もあり、実際に一番難しかったのは先生が話す文章の筆記時間だったと思います。聞き取りはできて文字に書き出すことの難しさを実感できました。授業内ではリスニング力、ライティング力、スピーキング力と全てを伸ばすことのできる素敵な授業でクラスの人たちや先生とこの留学期間一緒に楽しく学ぶことが出来たと思います。授業終了後や授業が休みな日は、ソウルに行って遊んだり休日でも楽しく過ごしていました。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>今回留学期間の中で私の目標は「流暢に韓国語で会話をすることができるようになり韓国語での表現力を高める」でしたが目標の達成度はすごく高いです。今回ルームメイトが台湾の方だったということもあり、本当に授業外でも日本語を使う場面が少なく1日中韓国語だけを話す日もありました。クラスメイトとは基本的に韓国語での会話をしていたため、自分の言葉で表現し韓国語を繰り返し話す機会が多くなるにつれて発音練習にもつながり、流暢に韓国語を話す力や韓国語での表現力が少しは身についたのではないかと思います。普段韓国旅行に行くことがあってもお店で使う言葉が毎回同じであったり、だいたい話す言葉が同じであったため、そのフレーズのみ上達する一方でした。ですが今回留学期間を過ごしていく中で授業内で日本語を使わない点やルームメイトが外国の方だった点、自ら韓国語で話す努力をしたということもあり自分にとってすごく韓国語の力を伸ばすことができたと思います。私は留学する前から韓国語の聞き取りはある程度できていた方なのでスピーキング力を重点的に伸ばしたいと考えていました。ですが実際に授業を受けていく中でスピーキング力だけでなくライティング力も欠けているという実感も感じることができました。今回の留学では流暢に韓国語が話せるようになり韓国語での表現力を高めるのが目標でしたが、留学期間が終わっても韓国語勉強はこれで終わりではないため、私の帰国後日本での目標はライティングにも力をいれ学習に励んでいきたいと思っています。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>私は今回韓国のヨンイン市というところにある大学に留学をしましたが、ソウル以外の地域に訪れたのは初めてでした。ヨンイン市は初めて行く地域だったということもあり留学期間中多くの観光地に足を運びソウルだけでなく隣の水原市にも訪れるなど学校が休みの日はそのようにして過ごすことが多かったです。普段は旅行として一人でソウルを訪れることもありますが、他の地域を訪れることやソウル以外の景色を見ることがなかったため、いつもソウル止まりで旅行が終わっていました。ですが今回この留学を通してヨンイン市・水原市を訪れたことによりまだ訪れたことのない地域をもっと知りたい、訪れたい、そしてこの留学の経験で培った語学力を活かし一人韓国国内の旅行をしてみたいなと思いました。私の夢が一つできました。</p>
5. 自由記述	<p>이번 유학은 정말 짧은 3주였지만 그 짧은 시간이 저에게는 잊을 수 없는 추억이 되었습니다. 그리고 좋은 경험이 되고, 좋은 선생님들과 친구들을 만날 수 있어서 정말 행복했습니다.</p>

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス観光	学科	2	年
プログラム名	夏期語学研修(個人型/韓国語)					
留学期間	西暦 2024 年 8 月 5 日 ~ 2024 年 8 月 22 日 (約3週間)					
留学先 (国・地域)	韓国	留学先大学名	檀国大学校			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私は高校生のころから韓国ドラマを見始め、見ているうちに韓国の文化や言葉に興味を持ち勉強を始めた。独学で勉強しているうちにだんだん言葉が聞き取れ始め、字幕なしでもコンテンツを楽しめるようになった。留学生サポーターの活動の中で韓国人と仲良くなり日々遊んだりしている中で自分自身がネイティブとも会話が流暢にできるようになり、独学でここまで実力をつけることができたため、現地に行って実際に生活をしながら韓国語をさらに上達させたいと思い、留学を決めた。昨年度のアジア研修も中止になり、ハングルも2年連続履修ができず、韓国語を学習する環境においてたくさん悔しい思いをしてきたため、絶対に留学をしたいと思った。留学の目的は韓国語をさらに流暢に話すこと、そして文字を書くのが一番苦手なので苦手克服をすること、そしてたくさん韓国語ネイティブと話すという目標を立てた。そして留学中の目標は勇気をもって何事にもひるまずに挑戦することです。日本と一番近い国であっても生活や文化は異なる面が多く、心折れることもあるかもしれないが、どんな時でも挑戦という言葉掲げて生活をするように心がけていた。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>大学の授業は平日の9時から13時の4時間で、その中でも2週目からkorean villageという檀国大の学生が先生となって韓国語を少人数で教えてくれる授業もあった。普段の授業は教科書とワークブックを進めながら、読む書く話す力をバランスよく勉強した。クラスは15人ほどで、前に出て発表をしたり討論をすることも多かったため、大きな声で人前で話すという事にも慣れたように思う。そしてkorean villageでは現役の大学生が使う今どきの言葉であったり、流行りの物など近い年齢だからこそ話せる話などをたくさんできたので、ここでもスピーキング能力が格段に上がったと感じた。寄宿舎も学校の中にあり、便利な生活を送れた。そして、授業が終わると多くのアクティビティに参加し、ソウルスカイやミュージカルナンタ、エバーランドやカリビアンベイ、キムチ作りや韓屋民俗村を訪れたり毎日大忙しの日々だった。活動の中で友達も増え、総合的に韓国の文化を知り、楽しめる日々であったと感じる。休日はソウルまで行きショッピングをしたり、以前から親しい韓国人の友達と遊んだり平日も休日もとても充実した1日を過ごせた。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>留学の成果は、留学の目的でもあった韓国語を流暢に話すこと、そして文字を読むことの苦手克服、韓国人とたくさん会話するというこの3つを大いに達成することができたと思う。日々の授業や生活の中で自分の感情や思っていることも言葉にできるようになり、日本にいたときに感じていた韓国語を話せるけれど自信がないという現実を壊すことができたように思う。ただ話すのではなく、母国語である日本語と同じように自分がある場面場面や人に対して言葉や表現を使い分けたりもできるようになったので、自分自身の自信に繋がった。そして、勇気をもって何事にもひるまずに挑戦するという目標も大いに達成できたと思う。</p> <p>留学中新しく発見したことや感じたことは、韓国人はパリパリ(早く早く)文化で何をしても行動が速いと思った。私は優柔不断なのもあり行動が遅いが、周りの韓国人の友達や学生の行動が速すぎて少し日本にいた時よりも行動が速くなったように思う。バスのスピードも速く、乗り降りするときも早くしないと乗れず、降りるときは交通カードを下りる前にタッチし、バスが走っているときに降りる準備をしないといけなくらい速かった。そして、韓国は上下関係がしっかりしており、韓国語の先生が初めにおっしゃられていた挨拶に始まり挨拶で終わるという年上を敬うことと挨拶を重要にしている国だと感じた。学校でもショッピングするときも飲食店でもコンビニでも絶対に店のドアを開けると안녕하세요(こんにちは)と挨拶を欠かさないので、韓国では私もどこに行くにしても挨拶をするように心がけていた。そして日本より断然にカフェが多く、勉強している人が多いと感じた。最初は慣れないことも多く、生活するのに精いっぱいだったがだんだんと慣れ、有意義な留学生活を送れた。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>私はこの留学経験を、次の目標である檀国大学の交換留学に行けるように活かしていきたい。韓国語を流暢に日本語と同じように話せるようになったのは良いことですが、まだまだネイティブと比較すると知らない単語や表現も多くあり未熟なのでもっとさらに日頃から勉強をしていきたいと考えている。そして、留学の中で大変なこともたくさんありましたがどんな時も現地の学生や先生、そして友達が支えてくれたので乗り越えられた。他国の地での留学の大変さを知ったのでさらに留学生サポーターの活動などを通して恩返ししたいと思う。さらに韓国人観光客が増えている中で街中等で困っている人がいるときに積極的に声をかけ、自分の語学力を生かして人助けができればいいなとも考えた。今よりもっと韓国語能力を上げ、英語力も他国の留学生と話す際に必要不可欠だと分かったのでさらに言語の勉強を頑張りたいと思う。そして、大学に在学しているうちに檀国大学への交換留学にも挑戦していきたい。</p>
5. 自由記述	<p>今回の留学に関わってくださった先生方、そして職員の皆様、本当に力を貸して下さいありがとうございました。おかげさまで事故もケガもなく無事に留学を終えることができました。今回の留学では自分の自信に繋がる貴重な経験が沢山積めました。今満足して終わるのではなく、留学の経験を生かしてこれからも継続して学習して努力し続けたいと思っています。これからもより良い姿をお見せできるように頑張ります。ありがとうございました。</p>

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

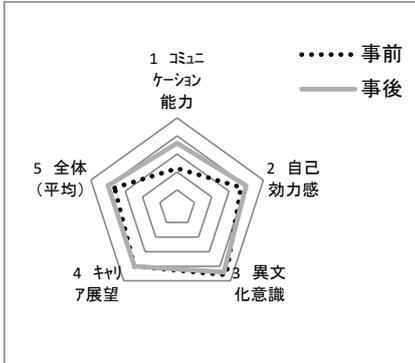
- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まらなっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2024年度 夏期語学研修(個人型/韓国語研修) 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:3名

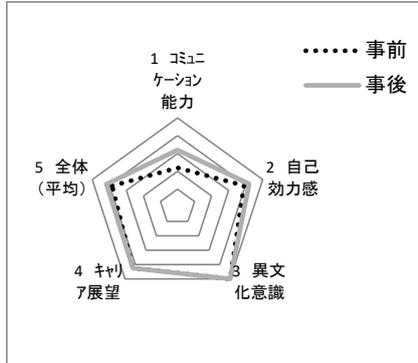
【参加者A】

	事前	事後
1 コミュニケーション能力	2.2	3.6
2 自己効力感	3.7	4.0
3 異文化意識	4.6	4.4
4 キャリア展望	4.0	4.0
5 全体(平均)	3.6	4.0



【参加者B】

	事前	事後
1 コミュニケーション能力	2.2	3.2
2 自己効力感	3.9	4.2
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.3	4.3
5 全体(平均)	3.8	4.2



【参加者C】

	事前	事後
1 コミュニケーション能力	4.0	4.6
2 自己効力感	4.0	5.0
3 異文化意識	5.0	5.0
4 キャリア展望	4.3	4.0
5 全体(平均)	4.3	4.7

